

中斎塾 東京フォーラム  
平成 27 年度 第 11 回講話

平成 27 年 12 月 12 日  
於 湯島聖堂

今日は、最初に参与の顔が見えて良かったなと思ったら、角南さんの顔が目に入りました。出だしが非常に良いと感じます。

最初に 1 年間の質問をしてしまいます。

**恒例の質問**

・今年 1 年間良い年だったなと思う方、いかがでしょうか。

・同じく今年 1 年間、嘘をつかない日が多かった。

今日は何か手が挙がらないね、今年 1 年間で総括すると色々厳しいですね。

・今年 1 年間「有難う」と言い、「有難う」と言われることが多かったなと思う方。

「有難う」と言い言われることは、仏教・宗教の関係者はよく色々と言います。とても困ったこと、辛いこと、苦しいことがあることは、神様の試練で、与えたもうた試練だということです。今苦しいということは、その内とても良くなること的前提で、自分を磨けば磨くほど良くなるという事ですので、先程手が挙がらなかった方は、あの時のきつい事があったから今は良いと後で振り返られるでしょう。そこら辺まで見通せば、パッと手が挙がらなくても、何となく手を挙げたり引っ込めたりがあっても良いかなと感じました。

・今年 1 年間は健康法を実践していたという方はどうでしょう。

・明日を過去形でイメージする体験が今年は何回もあった。いや、1 回以上あった。

・今年 1 年間、自分磨きを結構したと思われる方どうでしょう。

皆さんのお話を聞いた中で、竹岡さんの話が良かったなと覚えています。夜寝る時に明日こういう事をやりたい、ああいう事をやりたい。それで、こういう事をやりたいと思いついてワクワクして出来たなと思うとさらに嬉しくなってきた。やりたいなと思う事をイメージして、ついでにそれが出来たなと思う。そうイメージすればさらに良い。その考え方、持っていていかたが良いなと思っています。明日を過去形でイメージすると脳の活性化が違う

ようです。

恒例の質問は大体こんなところで、来年のことをお聞きします。

・来年は、やりたくて堪らないこと。どうしても自分の心が燃え上がっていて、是非やりたい。そういうものが何かおありの方。

若干ですね、有難うございます。

・燃え上がるほどの情熱ではないが、来年はこういう事をやろうかな、こういう事はやりたいと思う。予定を組んでいて、来年はこれとこれを淡々とした平常心で決めている方おられますか。

できれば是非、来年はこういうことがやりたいと幾つかおありだったら、その中で是非でもこれはやりたい。これだけは何としてもやりたいと昇格をさせていただくと良いと思います。

燃え滾るような情熱が来年注ぎ込める物が何か見つかるとうろしいですね。

これが質問のところで、やることのある人というのは確かに若さを保てると思いますけれども、情熱をもって是非これをやりたいというと、年齢は関係なくなってきました。はっと気がつくとき周りから「若いね」と言われます。

### 最近の出来事で思うこと

最近あったことを申し上げておくと、どうしても行きたいと思っていたホテルがありました。女房と一緒に行ってきました。以前にも申し上げた「変なホテル」は、長崎ハウステンボスにあるロボットホテルです。

フロントにロボットしかいないホテルを計画中という新聞記事を読んで気にしていたら、この間もうお客さんを受け入れているというニュースを見た瞬間に行きたくなって、すぐ行ってきました。それで本当に面白かった。フロントに恐竜のロボットがいて恐竜がサンタクロースの格好をしている。隣には美人ロボットゆめこさんというロボットがいました。それもサンタの格好をしていましたが、チェックインに関する問答はできました。それで「宅急便は出せますか？」と聞いたら、「難しい質問はしないでください」と。「難しい質問と言ったって、君はそういうソフトは入っていないのかね」とかやっていたら、奥の部屋から人間が飛んできて「お客様それは入っておりません」と言っていました。

変なホテルのパフレットにはロボットが三体ありましたが、行った時には二体だけでした。一体は別の場所に移動していました。

3つの棟があって、そのうちのA棟だけは大きな荷物は運びますが、B棟C棟は運べませんと言います。私の宿泊棟がC棟だったから「何で運べないんだ」と文句を言っていたら「お客様それは運べないルールです」と言うので「同じお金を払っているのに、何故か」

と聞いたら、小さな声で「すみません。ロボットが未熟で雨に濡れるとロボットが動きませんから、勘弁してください」と。確かにその日は雨が降っていました。「しょうがない、じゃあ人間が運ぶの？」と聞いたら「いいえ、お客様ご自分で」って。まあそんなことで部屋に入りました。部屋に入ったら「チェリーちゃん」という小さいロボットがいて、話しかける時は「チェリーちゃんと言ってください」と書いてありまして、質問事項は三つとあったので、話しかけましたが、全然返事をしない。女房が話しかけたら返事をした。やっぱり何か音感が違うのでしょうか。「明かりを点けて」と言ったら、明かりが点き「消して」と言うのと消した。あとは「今、何時？」「明日の天気は？」には反応しましたが、あと他のことを言っても全然答えない。それでしばらく経って「じゃあね、またね」とか言って終わってしまう。そういうのを見て考えて分かったのが、これは広がるなと思いました。

色々聞いていますと「20人のスタッフが5人カットできました」と言っていましたけれども、まともにソフトが組み込まれればまだ減らせるなあとと思います。

私が普段泊まっている定宿で、その話をしたらフロントの子が「変なホテル、私も行ってみたい」と言います。それで、もう一つ別の定宿で話したら「私もそのうちクビになるんでしょうか」と言っていました。

同じ話を伝えるにも、良い話になるか悪い話になるか、受け取り方しただいと感しました。

あと感じたことは、日本はやっぱり鉄腕アトムの影響が大きいなあとと思います。外国のロボットのイメージはどれも怖いということがあります。例えば映画のターミネーターです。日本は鉄腕アトムだから親しみかたが違う。そうすると日本の社会はロボットをどんどん受け入れて普及させていくことが進むだろうし、学生が研究開発して、それを民間の会社と提携しながら進めていくことをやっています。それが結構進んでいるから、これは5年とか10年ぐらいで日本のロボット工学は飛躍的な発展を遂げるだろうと感じます。そしたらそれを取り入れて、日本の中で工場がまた違う形で発展していくかと、変なホテルへ行って感しました。

あとは、この中斎塾フォーラムを立ち上げる時に(株)中斎塾を作って、その中の一部という形で中斎塾フォーラムを作りました。お金がかかるから、お金を頂いても大丈夫だろうという見極めがついたところでお金を頂くようにして、お金がかかることは株式会社で引き受けながら進めていき5年経ったところで、まあ何とかなるなと算段をつけて、一般財団法人に切り替えを図ってきました。財政的な裏付けを最初からしながら、一般財団法人中斎塾フォーラムをスタートしていきました。一般財団法人中斎塾フォーラムを作るぐらいの時にフォーラムの方から言われたのがまだ耳に残っていますが、「中斎塾フォーラムという名称があるにも関わらず、何で(株)中斎塾なんていう名前を付けているんですか」と。「中斎塾フォーラム1つでいいじゃないですか。ややこしい(株)中斎塾なんて止めてください」

とありました。その御要望のもと榊中齋塾は解消いたします。それで株式会社深澤事務所と改称いたしますので、1月1日に会議を開きます。出席予定者は嫌がりましたけども、出してもらいます。でも皆様方には影響はありません。中身は従来通りということを申し上げます。

## 紹介書籍

『陽明学のすすめVI 人間学講話「三島中洲・二松学舎創立者」』深澤賢治著 明德出版社

### テーマ 「知足」

今月のテーマは、知足で笑顔の人。残りの時間で申し上げますが、知足にいくまでの1月から11月のテーマをちょっと振り返ります。

1月が「人は、その性格にあった事件にしか出会わない」

これは城山三郎さんが渋澤栄一さんのことを書いた本の中にあった科白です。やっぱりその性格に合ったものしか出あわないということは、そうだと思います。根っこのところはどうしてもね。

私は人と喧嘩することが嫌いではないから、できるだけ笑顔でと努力はしていますが、勘に触った人は、どうしても徹底的に叩いてしまいます。どういう訳だか、お坊さんとは性が合わなくて、お坊さんとやり合うことが多いから、来年は氣をつけていこうと思っています。どうぞ皆様方も自分の性格に合った事件にしか出あわないということですから、自分の性格をよく考えていただくと良いでしょう。

2～4月は、「人間社会の崩壊」シリーズです。どうも人間の社会が行き詰ったと感じます。

2月は「人間社会の崩壊 医療制度」良いお医者さんもいるし、悪いお医者さんもいるけれども、医療制度そのものが、もう限界にきているから今のスタイルは無くなる。そうなると、掛かりつけ医、何でも相談できるお医者さんを友達にしておく必要があると考えています。良い医者をしてできるだけ見つけて友達にすることだと思えます。

3月の「人間社会の崩壊 飢餓」は、食べられないということは世界的に見るともの凄く多い。やっぱり食べ物を自給自足できるようにすると良い。

変なホテルのレストランに行ったら、レストランの入口にガラスケースの中で、ミニトマト、レタス、小松菜かな、何かそういう青物が栽培されていました。それを見せるよう

なレストランでした。あそこで栽培している物を皆様にお出ししていますと説明がありましたから、ホテルはホテルなりに、個人は個人なりに、それぞれの組織は組織なりに、自給自足を真剣にやっておく必要があると考えています。

ちなみに芋作りは少しですけど覚えました。北関東フォーラムの神藤評議員長が先生でして、来年はお芋が大量に取れると思いますから、何かの形で残せないかということが、これからの課題だと思っています。

4月は「人間社会の崩壊 金融危機」、もうこの金融危機というのは起こっていますし、もうお金は従来の形では通用しなくなってきましたから、これは見なきゃいけない。従来のお金の仕組みは終わりですから、そのようにお考えいただくとよろしいですね。

次の5月は「民主主義失格 重税国家」、これはとにかく今の人間社会の仕組みは食べ物  
の制度、お金の仕組み、何から何までみんなもう行き詰まっています。

行き詰まっているということが頭に入っていれば、たまに何か良いことがあれば、「どうして、まともなのだろう」と、まともな理由を調べていく。自分にとってすごく良いことがたくさん広がってくると思います。全部目に見えるのは、おかしいと思っていたほうが良いと思います。そうすると良い物を見る審美眼が育つと思います。

それで重税国家なので、日本の国は1000兆円を超す借金があると言うけれども、スーパーインフレになればチャラだと国は考えているから、屁でもないんじゃないですかと、腹の中で思っています。

6月の「科学者達の認識」これもちょっとスタイルが違うけれども同じです。行き詰まったということですよ。

木内信胤先生の認識は、ここの文章だけ取り出したからちょっと苦しいですが、「いつ日本の国がなくなっても、それは良かろう」と思わなければおかしい。それは欲望が無くなれば良い。貪る心が無くなれば良い。生まれた時は裸だから、みな無くなったっておかしくはないと。

日本の国だって最初から国があったのか。1万6千年前に大八島に住みついてから、国が始まり、最初に戻れば何もなかった。それで、いつ日本の国が無くなってもそれは何ていうことはない、仮の物だから。これは唯識学になってきます。欲張らない、欲をそんなに持たなきゃ良い。ほどほどで満足するということです。

9月は「倫理道徳心の欠落」倫理、道徳心の欠落は、行き詰まったんだから当然出てくることです。道徳心がもう無い。少し残りカスがあるだけ、というふうに感じます。

10月は「環境問題の行き詰まり（愛と魂のベルリンスピーチ）」、これは谷口幹事の訳し

た文章と、酒井副代表が色々書いていただいたので、季刊誌『知足』に載っています。そちらを御覧いただきたい。

11月が「道徳経済合一説（日本資本主義の原点）」は、今日みなさまにプレゼントをいたしました『陽明学のすすめVI 人間学講話 三島中洲』これを御覧いただくと、色々書いてあります。どうぞじっくりお読みください。

それで最後に12月「知足」ですから、知足の人というのは何かと言ったら、笑顔の人です。笑顔が溢れる人を「知足」の人と定義付けて良いと思います。少し難しく言ってみますと、貪る心を持たぬ人。よく程々で満足する人と言うけども、どこで満足するか、程々がピンとこなければ、貪る心を一生懸命に消して笑顔の人。もうお腹一杯で満足。奥さんと仲良く話げできた。仏頂面して笑顔なんてことはまずありえない。笑顔になっている人は、みな知足の人だというふうに定義付ければよいでしょう。

それが今日のテーマの結論であると私は考えております。

それから今後の予定でいくと12月16日19日は中斎塾フォーラムの忘年会で、来月1月25日は群馬医療福祉大学で論語を専門に聞いている人達が集まるそうです。ですからそこでちょっと詳しい論語の説明をしようと考えています。その人達にとるとびっくりするような形での話にしたいなと考えています。来年の楽しそうなことです。それから来年どうしてもやりたいことを申し上げて前半は終わりにします。

皆様にお聞きしますが、1週間で1回は、お休みを取っている方？

- ・1週間に2回お休みを取っておられる方？
- ・お休みを取っていない方？

毎日お休みの人もありますね。私、考えたのですが、今まで休みらしい休みを取っていないので、こういうお喋りは1週間に1回ぐらいにと考えています。それで滾るような情熱は、何かといいますと、休みを取って資料整理をしたい。溜まりに溜まっているから、これを整理したいということで前半は終了でございます。

## 論語の視点 <憲問 第十四>

今日の論語は短くてようございました。読み方は、元気があってとても聞きやすかった。1つアドバイスをすると「**克伐怨欲 行われざるをば、以て仁と為すべきかと**」ですが、この「克伐怨欲」は、ゆっくりと味わいながら読んだ方がよいでしょう。ここをスッと言

うと、何か軽く抜けてしまいますから、一つ一つ区切って「克」は、その時に自分が誰かに勝っている時のイメージで読む。「伐」は、何か偉そうにして、または誰かが偉そうにしている時をイメージしながら読むと身体に入ってきます。そういうちょっと一呼吸おきながら読むとさらに良いと思います。

**【一】憲 恥を問う。子曰く、邦 道有るときは、殺す。邦 道無きときに殺するは恥なりと。**

憲は、原憲で孔子の弟子です。

原憲が孔子に「恥とは、どういうものでしょうか」と聞きました。こんな人はいないだろうが、孔子は「その国に道德心が満ち溢れているときは、給料を貰って良いし働いて良い。しかし、その国の道德心が欠如しているときは、その国家に仕えて給料を貰うのは恥ずかしいと思いなさい」

ここで引かなかったのが、昨日の読売新聞に「都の職員にボーナス 90 万円」と書いてある。

この世の中は、税金を納める人と税金を貰う人と二つしかいない。税金を払う人は我々です。税金を払う人は何だかんだで税金を払わされてばかりです。

失礼だなと思うのは、自民党・公明党がまとめた 2016 年税制改正大綱では、赤字企業に対する課税は強化する。儲かっている企業からは税金は取るけれども、少し税金を安くする。儲からない企業は罰金だとゲンコツくれて、赤字であろうが何であろうが 1 億円を超す大企業でも税金を取ることが大きく打ち出されつつあります。法人実行税率約 32%を 29・93%…姑息だね。これ 3 割を割ったって言いたいがためにそうした。

儲かっている企業は税金を安くします、赤字で税金を払ってないところは大幅に取ると進めています。税金をいかにしたら取れるかを政府は考えている。たぶん国を滅ぼしたいのでしょうかね。

税金を皆から巻き上げたら、税金を貰う側はボーナスがある。だいたいボーナスという言葉は賞与でしょう。賞与は儲かったら出るのでしょうか。税金を貰う人達はどうやって儲かっているんだと思います。

舛添さんは、東京都の都知事のボーナス 411 万円では少ないから更にまた上げるという条例を改正。副知事のボーナス 336 万円も少ないから上げる。都議会の議員さんは 247 万 9753 円も少ないから上げますと言う。とにかくこれを読んでいて腹が立ちます。

よく政治家にお給料を出すより、助成金や経費など他のお金の支出が大きい。助成金を出すのは一生懸命に政治の仕事に精出してもらうためということで、法律でお金を出せる

ようになって政治家は貰えることになった訳でしょう。それを、そっくり使い放題に使っているのは、おかしいと思う。

同時に職員も、もうちょっと身を縮めて控えめにすればいいのに、新聞にこう出されたら腹が立ってしょうがない。ボランティアで官僚をという問題があるかもしれないからボランティアでとは言わないけれども、せめてもう一つや二つ、重ねてもうちょい仕事をしてもらいたいと考えます。

税金を払う側からすると、痛みをもって税金を払うのだから貰う側もちょっとは痛みを感じるような仕組みにして欲しい、日本の国や他の国もそうだけど変えていかなきゃいけないと感じます。

今日の「邦道有るときには、穀す」は、道徳心が欠如しているから、税金を平気で貪って取るという感じがします。

これ都議会議員に限らず、国会議員のお給料はみな高い。それから地方の議員さんも沢山いますよね。いらないと感じます。

政治家は本業があり、自分の本業もしくはそれ以外の物で稼いで、ボランティアで政治家をやってもらいたいと思いますし、官僚も似たようなことが言えるなと感じました。

【二】<sup>こくぼつえんよく</sup>克伐怨欲<sup>おこな</sup>行われざるをば、<sup>もつ</sup>以て<sup>じん</sup>仁と<sup>な</sup>為すべきかと。<sup>しいう</sup>子曰く、<sup>もつ</sup>以て<sup>がた</sup>難しと<sup>な</sup>為すべし。  
<sup>じん</sup>仁は<sup>すなわ</sup>則ち<sup>われし</sup>吾知らざるなりと。

人とつきあう時に、私は勝つんだと言って勝ちたがること、それから勝ったら偉いだらうと威張る。何かで恥をかかされたと本人が勝手に思ったら恨みを持つし、上手ですねと言われたらば、もっと誉めると欲深く言う。

ここは「克伐怨欲がなければ、仁者といえるでしょうか」と聞いたら、孔子は「それは難しいね。仁者はどういうものなのか、私は知らない」という説明です。

## 時事評論

昨日の読売新聞に、おおさか維新の会・暫定代表の橋下大阪市長がツイッターで書いてあるものを紹介していました。安倍官邸恐るべしという文字です。これが目に入ったのは『知足』新年号で、三石幹事の編集後記を読んで目に入りました。

安倍政権が発足の頃に週刊誌の記事で、「安倍さんは次官会議を無視して内閣でやりたい事を決めてしまった」という記事が出ていました。今までの内閣総理大臣は、下から上が



ってきたものを前例踏襲型でイエスと承認していく。そういうスタイルが普通のやり方でした。次官会議の前に会議があり、毒味が終わって味も素っ氣もないような物が総理のところの上ってくるのが普通でしたが、安倍さんは従来のやり方を最初から無視している。この内閣は今までの内閣と手法が違うなと感じたので、安倍内閣はとんでもない事をする可能性があると感じていました。驚天動地のことをする可能性があるみたいなことを知足に書いておきました。それを三石さんが振り返って再度ご紹介していただいた。

季刊誌『知足』前の号をお持ちであれば、ちょっと振り返って見ていただくと良いなと感じました。

何度も申し上げますけれども、来年は同じです。新聞も前から言っている三つの見方は変えません。

ひとつは政権のあり方を見る。前は民主党の無様な手を見ると言いましたが、無様が無くなって、今は自公政権だから自公政権の打つ手を是々非々で見ると。

今回の是々非々で見ると、昨日の新聞で「1兆円規模で自公一致」とありました。これで谷垣さんは梯子を外されました。火種がまた一つできたなと思います。軽減税率 1兆円で自公一致って、そんなことは無いなと思います。

丙申（へいしん ひのえさる）の見方で言うと、安倍さんは今、やりたい放題やっていて、谷垣さんに参議院選に勝ちたいから公明党の顔を立てて欲しいと文句をつけて、谷垣さんの腹の中はちょっと煮えてきたけれども現役的首相がいうことだからとOKを出した。あの人は面目丸潰れですが、それによって谷垣さんが後釜になるのを防ぐという手もあるでしょう。見ていると色々な物が透けて見えてきます。

二つ目は自然災害が、どういう状況になっていくかを見ておく必要が、やはりあると思います。

三つ目は国債の動向を見る。最近、突如浮上したり消えたり連続ですから、ここらを意識して見ていただくと良いでしょう。主税局の反乱みたいなものが軽減税率でと書いてあるけれども、これは目くらましで載せたなという気がしました。

国内はそんなところでして、外国ではアメリカのトランプ発言がこここのところ気になっています。

アメリカ大統領選で共和党の指名候補の不動産王ドナルド・トランプ氏が「イスラム教徒は一切入国させない」と発言したことについてはよく出ています。他に書いてあるものを読むと面白い。

アメリカの新聞が世論調査した結果、トランプさんが無所属になっても投票をするとい

う人が 68%いる。それで無所属になったら投票しない人は 18%ということですから 65%が支持者なんて書いてあるけれども、相当アメリカも変わってきていますね。あちこちで今の資本主義の仕組みが行き詰まっているということが、こういうところにも出てきている。

イスラム教徒は入国禁止なんていうことは、日本の鎖国も見直される時期に入ってきているのではないのでしょうか。

鎖国はどういう考え方で始まって、どういうふうに出着をつけたのか、西洋の感覚でいけば利害得失だということでしょうが、この分野の研究をする学者が出てきて発表すれば良いなと思います。日本の鎖国はもう一度見直されると思います。

鎖国によって日本の循環型社会ができて、食べ物に関してはアメリカの発表で見直されています。

それから複雑怪奇になってきていると思うものが、アサド政権、イスラム国です。過激派組織のイスラム国は、石油の密売で毎月 50 億円の収入を得ていると言われている。そうするとイスラム国が 50 億円の収入を得ているのはアサド政権に売っているからだということで、世の中の世界の動きをよく見ていると怖い部分・怖い時代が来年は始まる。恐ろしい出来事が次々に起きてくる。そう感じています。

下手したら、本当に世界同時恐慌とか開戦ということになりかねないではなく、きっかけがあったら直ぐ始まる。そういう危険性を持ちながら、本日は終了にさせていただきます。

心の持ち方しだいで変わってきますから、世界はそうなっているけれども、先ほど申し上げた対策を幾つかやっていけば、我々は良い年を迎えられるだろうと思っています。

では良いお年をお迎えください。有難うございます。